

# 1年テーマ 生きものとなかよし

ねらい「おくのの自然と関わる体験的活動を通して、おくののよさに気づき、親しみをもつ児童を育てる」



## 子どもの探究活動

ふるさと奥野

国際教育  
英語教育

情報教育

四季を通じて校庭での自然探し。

校庭やおくのの森の自然に触れ、生物の生命の素晴らしさや自然の不思議を体験する。

校庭やおくのの森などで秋の自然をさがす。

自然体験を生かし、秋の自然物を使って、工夫して遊びやおもちゃを考える。

地域の保育園児を迎え、「あきまつり」で自然を生かした自作のおもちゃで遊ぶ。

昔から伝わる遊びの楽しさを体験する。

冬の自然を探したり、冬の自然を生かした遊びをする

地域との連携

4年生と一緒におくのの森に一緒に行き、自然体験をする。(9月)

地区社協の方といっしょに芋の苗植えを行う。

地区社協の方といっしょに、芋の収穫を行う。

地域の保育園の園児を招待し、自然体験の感動を共有する。(11月)

地域の人に昔から伝わる遊びを教えてもらう(12月～1月)

【国際教育】

ワールドキャラバン (11月)

【英語教育】

イングリッシュタイム

# 2年テーマ 生きものはっけん

ねらい「おくのの自然や地域の人々に関わる体験的活動を通して、おくののよさに気付き、地域の人々の願いや思いを大切に育てる」



## 子どもの探究活動

ふるさと奥野

国際教育  
英語教育

情報教育

### 地域との連携

校庭やおくのの森の自然に触れ、生物の生命の素晴らしさや自然の不思議さに気付く。

ヤマユリの会 おくのの森でのレクチャー。(7月)

花や野菜づくりを通して、生物の成長について知る。

【情報教育】1人1台タブレットを活用して、森の生き物をカメラ機能で撮影し、記録する。(7月)

「あつまれ！おくのの森プロジェクト」森の生き物について、体験を生かし、身近な物を使って動くおもちゃで表現する。

学校サポーター（野菜名人）おくのの自然についてのレクチャー（6～7月）

1年生を自作の「おくのの森」の「おもちゃまつり」に招いて、生き物の自作のおもちゃで遊ぶ。

ヤマユリの会 自作の「おくのの森」の様子を手紙でお知らせする。(7月)

自分たちの地域には、季節を生かした行事があることを知る。

地域の方や保護者の方に季節を生かした冬の行事を教えてください。(12～1月)

たくさんの人の支えられていることに気付き、ありがとうの気持ちを伝える。

地域の方や保護者に感謝の手紙を読んでいただく。(1～2月)

### 【国際教育】

ワールドキャラバン (11月)

### 【英語教育】

イングリッシュタイム

# 3年テーマ 発見！おくのの自然

ねらい「おくのの自然に関わる活動を通して、地域の自然の良さや課題に気づき、地域への誇りや愛着をもって、地域を大切にする児童を育てる」



## 子どもの探究活動

ふるさと奥野

国際教育  
英語教育

情報教育

学校の水辺の生き物をきっかけに、水辺の生き物に関心を調べてまとめる。

地域との連携

【情報教育】

タブレットを活用して調べ、まとめ発表する。ローマ字入力ができるようにする。  
(7月～10月)

水辺の生き物について学習することで、おくのの川について知る。

保護者

地域の川からタナゴを提供 (9月)

生き物を通して自然の学習を行う。  
(理科とのカリキュラム・マネジメント)

アサザ基金

おくのの自然についてのレクチャー  
(12月)

おくのや地球の水環境について自分たちにできることを考える。

保護者

おくのの川の生き物についてのゲストティーチャー (1月)

【国際教育】

JICA国際協力出前講座  
(11月)

【英語教育】

イングリッシュタイム

# 4年テーマ 守れ！おくのの自然

ねらい「おくのの自然に関わる活動を通して、地域の自然の良さや課題に気づき、地域への誇りや愛着をもって、地域を大切にしようとする児童を育てる」

15 陸の豊かさも  
守ろう



## 子どもの探究活動

ふるさと奥野

国際教育  
英語教育

情報教育

生き物について1年間を通して自然の学習を行う。（理科とのカリキュラム・マネジメント）

おくのの自然についてヤマユリを植えることを通して知る。

おくのの森林を手入れすることを通して、森林の実態を知り、課題について気付く。

地域の自然おくのの森を守る方法を考え、地域の方へ発表する。

### 地域との連携

ヤマユリの会  
ヤマユリについてのレクチャーを受け、球根を植える。  
(11月)

ヤマユリの会  
ヤマユリの手入れ仕方、おくのの自然についてのレクチャー (1月)

【情報教育】  
タブレットを活用して、考えをまとめる。  
(表現力向上) (2月)

ヤマユリの会  
子どもたちの発表に対して感想やアドバイスをいただく。(2月)

【国際教育】  
JICA国際協力出前講座  
(11月)  
【英語教育】  
イングリッシュタイム

# 5年テーマ 地域の伝統文化を継承しよう

ねらい「おくにおける課題を解決しようとする活動を通して、地域の伝統文化を守り、継承する方法について考え、地域への誇りや愛着をもって、地域の一員として行動しようとする児童を育てる」



## 子どもの探究活動

ふるさと奥野

国際教育  
英語教育

情報教育

### 地域との連携

地域の方々から、消滅していそうな地域の祭りや伝統文化を残してほしいと依頼される。

地域の方々から地域の祭りや伝統文化を紹介され、残してほしいとお願いされる。(5月)

地域の方々の願いを知り、地域の祭りや伝統文化調べる。

地域の祭りや伝統文化について、地域の方と一緒に探検する。(6月・10月)

地域の文化を継承するために、自分たちにできることを実践する。

**【情報教育】**  
インターネットで他の地域の伝統文化を残す取り組みを知る。(6月～11月)

自分たちが伝統の継承のために実践してきたことを、海外に発信する。

地域の課題を解決するために地域の方からアドバイスを頂いたり、協力していただいたりしながら活動する。(12月～2月)

**【国際教育】**  
自分たちの実践を英語で海外に発信する。(12月)

# 6年テーマ おくの未来予想図を描こう

ねらい「外国との協働学習の中で、おくのの課題についてグローバルな視点から解決しようとする活動を通して、地域への誇りや愛着をもって、地域の一員として行動しようとする児童を育てる」



## 子どもの探究活動

ふるさと奥野

国際教育  
英語教育

情報教育

アートマイル交際  
交流学習を活用し、  
SDGsの視点から共通  
のテーマを設定し、  
海外の学校と協働学  
習を行い、世界への  
提言をまとめる。  
(壁画の作成)

地域との連携

地域の通訳ボラン  
ティアの方に、台湾  
との交流に協力して  
いただく。  
(10月・11月)

【英語教育】  
自分たちの考えを英  
語で表現し、伝える。  
(10月・11月)

台湾の子供たちが  
慢性的な水不足に悩  
み、トイレの水も満  
足に使えない状況  
を知り、自分たち  
には何が出来るか  
考え、実践する。

地域の方に完成した  
壁画や壁画に込めた  
思いを伝える。  
(2月・3月)

【情報教育】タブ  
レットを活用して、  
考えをまとめる。  
(表現力向上)  
(2月・3月)

# 7年テーマ：おくのの地域の課題を考えよう

ねらい「奥野地区における自然環境と再可能エネルギーに関する調査活動を通し、持続可能な視点から多方面に自然環境の在り方を地域とともに考え、奥野地区の自然にとってよりよいことを実践する。」

7 正味の手書きで  
書いてみる



11 住み分けられる  
まちづくりを



## 子どもの探究活動

ふるさと奥野

国際教育  
英語教育

情報教育

地域のフィールドワーク（歩く会）を通して、ソーラーパネルが増えてきているとともに、放置林が多いという地域の課題に気付く。

### 地域との連携

フィールドワークの際、安全面などで、地域の協力を得る。（5月）

ソーラーパネル設置の是非について2つの立場から検討する。

### 【国際教育】

インドネシアの子どもたちと大使館の方とSDGsの視点で交流を行う。（5月）

視点を新たにし、ソーラーパネル設置と森林が共存する方法について検討する。

### 【情報教育】

インターネットでソーラーパネルと森林の関係について調べる。（6月～11月）

調べたことをもとに、おくのの森とソーラーパネルの共存についての考えをまとめる。

専門家の意見として、ソーラーパネルの設置者、アサザ基金、市役所の担当者から話を伺う。（12月）

自身の生活を振り返り、自分たちがソーラーパネルに関してできることは何かを考え、実践する。

まとめたことを地域の方々に伝えたり、地域の方々の思いや願いを伺ったりする。（2月・3月）

# 8年テーマ

## 地域に生きる『地元の仕事を新発見』

ねらい「農業体験や、その他の職業について地域の協力を得ながら、職場体験活動を行い、地域の豊かな自然や、人財の豊富さに気付くとともに、働くことの意義や、職業への理解を深め、自己の在り方やよりよい生き方について学び、自分にふさわしい職業や仕事への関心・意欲を高める。」



### 子どもの探究活動

ふるさと奥野

国際教育  
英語教育

情報教育

仕事の意義について学び、自分の適性や興味にあった仕事について考える。

地域との連携

Benesseの職業適性検査を行う。(5月)

地元の事業所で職業体験をすることで、仕事のやりがいや、苦勞について知る。

受け入れ先事業所について、学校運営協議会をはじめ、地域の方々の協力を得る。(5月・6月)

そば畑での職業体験。(まんべんなく種をまく方法を考える。)(8月)

職業体験を通して自分の生き方について振り返る。

【情報教育】  
タブレットの機能を活用して、職業体験についてのプレゼンテーションを行う。(9月)

一連の学習の中で、あらためて仕事の意義や自分の適性について考える。

Benesseの職業適性検査を行う。(2月)

【国際教育・英語教育】  
ブリティッシュヒルズ語学研修(12月)

保育園生とのサツマイモの苗植え(地域連携)  
(6月)



## 9年テーマ

これからの共生社会に向けて  
ねらい「地域との共生について考えながら，奥野地区  
への愛郷心や誇り，感謝を育み，義務教育最終学年と  
して貢献できる活動を考案し，実践できる生徒を育て  
る。」

17 パートナリシップで  
目標を達成しよう



### 子どもの探究活動

ふるさと奥野

国際教育  
英語教育

情報教育

社会で学んだ共生社会  
について確認をする。

#### 地域との連携

これまで学んできた地  
域の学習を振り返り，  
奥野地区のよさや課題  
について見つめ直す。

歩く会が，地域の方々の  
支えによって行うことが  
できたことに気づき，互  
いに尊重し合い，支え合  
うことの意義について考  
える。(5月)

自分たちで考えた奥  
野の地域社会が共生し  
ていくためにはどうし  
たらよいかを考える。

【情報教育】  
インターネットで社会の  
共生についての文献を調  
べ考えを深める。(11月)

地域社会が共生して  
いくために必要である  
ことを実践する。

修学旅行で訪れた地域と  
奥野地区の比較を行い，  
その中から地域のために  
できることを考える。  
(12月～3月)

社会の共生につい  
て英語を用いてポー  
ランドの子どもたち  
と共有する。

【国際教育・英語教育】  
日本とポーランドの共生に  
ついての価値観を交流し，  
英語での表現力を高める。  
(12月)